

◆ 消化器内科

■ 消化器内科とは

消化器内科は、食べ物の通り道である口から肛門までの消化管(食道・胃・小腸・大腸)、実質臓器(肝臓・胆のう・膵臓)を診療・治療する科です。

当院では、これらの消化器疾患全般にわたって、日本消化器病学会 専門医が、専門的な検査・診断・治療を行います。

また、日常的な胃もたれや胃痛などの些細な症状から逆流性食道炎やアニサキス症などの診療も対応しています。

病気の中には、自覚症状がないものもあります。病気が見つかったときには悪化していたということも少なくないため、お腹の不調を感じたときは消化器内科受診をご検討ください。また、定期的な検診を心掛けることも大切です。

● 消化器内科で診療する症状

【こんな症状はありませんか？】

- ・お腹の調子が悪い
- ・胃が痛い
- ・胃もたれがする
- ・吐き気がする
- ・嘔吐を繰り返す
- ・胸やけがする
- ・便秘で長い期間、悩んでいる
- ・突然、便意が襲ってくる
- ・下痢を繰り返す、治らない
- ・便に血が混じっている
- ・食欲不振
- ・急に体重が減少した など

● 消化器内科で診療する疾患

各部位の疾患の他、ノロウイルス、腸管出血性大腸炎 o-157、食中毒など感染症の診療も行います。

部位	疾患例
食道に関する病気	<ul style="list-style-type: none">・ 逆流性食道炎・ 食道ポリープ・ 食道がん・ バレット食道・ 食道裂孔ヘルニア・ 食道静脈瘤
胃に関する病気	<ul style="list-style-type: none">・ 胃炎(萎縮性胃炎、慢性胃炎、鳥肌胃炎、など)・ ピロリ菌(ヘリコバクターピロリ感染症)・ 胃ポリープ・ 胃がん・ 胃潰瘍

	<ul style="list-style-type: none"> ・ アニキサス症 ・ 機能性ディスぺプシア
小腸に関する病気	<ul style="list-style-type: none"> ・ 十二指腸潰瘍 ・ 憩室出血 ・ 憩室炎 ・ クローン病
大腸に関する病気	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大腸ポリープ ・ 大腸がん ・ 潰瘍性大腸炎をはじめとする炎症性腸疾患 ・ 過敏性腸症候群 ・ 腸閉塞 ・ 憩室出血 ・ 憩室炎
肝臓に関する病気	<ul style="list-style-type: none"> ・ A、B、C 型肝炎をはじめとするウイルス性肝炎 ・ 肝がん ・ 脂肪肝 ・ アルコール性肝障害
膵臓・胆のうに関する病気	<ul style="list-style-type: none"> ・ 膵炎 ・ 膵がん ・ 胆のうポリープ ・ 胆のうがん ・ 胆石

● 消化器内科で行う検査

1.胃カメラ検査(上部消化管内視鏡検査)

鼻・口から内視鏡用の専門カメラを入れて胃の中を調べる検査になります。当院では、日帰り・当日内視鏡検査に対応しております。

当院では患者さんの負担を軽減した、麻酔投与下での検査も行っております。

2.大腸カメラ検査(下部消化管内視鏡検査)

肛門から内視鏡用の専門カメラを入れて大腸の中を調べる検査になります。

大腸カメラ検査では、事前に大腸内を綺麗にする必要がありますが、当院では、院内下剤にも対応しており、忙しいビジネスマンや通院に大変な方でも受けやすい工夫をしております。また胃カメラ検査同様、できるだけ患者さんの不安や負担が小さくなるよう、麻酔下での検査などに対応しています。

3.ピロリ菌検査

当院では、内視鏡を使わないピロリ菌検査(尿素呼気検査)も行なっています。
ピロリ菌は胃がんの原因の一つでもありますので、定期的に検査することをおすすめします。

4.腹部超音波

お腹に超音波をあて、その反射波(エコー)を超音波装置が受信し、同装置によるコンピュータ処理によって画像として捕らえられ、臓器等に異常がないかどうかを確認する検査です。対象となるのは、肝臓、胆のう、胆管、膵臓、脾臓、腎臓などです。他に子宮、卵巣、膀胱、前立腺、胃、小腸、大腸などの病変の有無を調べることも可能です。
レントゲン検査や CT 検査と異なり、放射線の被曝が無い検査ですので、お子さんや妊婦の方も安心して受けることができます。

5.腹部 MRI

MRI とは、「Magnetic Resonance Imaging」の略称で、「磁気共鳴画像」と訳されます。MRI 検査は強力な磁石と電磁波を利用し、人体の断面を様々な角度で写すことが可能です。腹部 MRI 検査は、肝臓・胆のう・膵臓や副腎・腎臓などの腹部臓器の腫瘍などの疾患に行う検査です。放射線の被曝が無い検査ですので、お子さんや妊婦の方も安心して受けることができます。

6.腹部 CT

腹部 CT 検査とは、X 線を使って腹部の断層写真を撮影する検査方法で、人体を透過した X 線をコンピュータ処理し、体を輪切りにした画像を作ります。この輪切り画像を積み重ねることで、腹部の臓器を詳しく観察します。観察の対象となるのは、主に胃・小腸・大腸・肝臓・胆のう・膵臓・腎臓・脾臓などで、それぞれの臓器の腫瘍性病変や結石・脂肪肝などを診断します。